



英国の生乳流通の現状と課題

～MMB解体後の構造変化～



Japan Dairy Association

一般社団法人 Jミルク

前田 浩史

英国酪農乳業現地調査の概要



10/
10



Dairy UK

Address : 93 Baker Street London W1U 6QQ
Tel : +44 20 7486 7244
HP : <http://www.dairyUK.org>

10/
11



Mansel Raymond's Home Farm

Address : Jordanston Hall, Letterston, Haversfordwest, Pembrokeshire, SA62 5UL
Mail : raymond.jordanston@virgin.net



Christopher James's Home Farm

Address : Pembrokeshire, SA71 5DQ
Tel : +44 164 666 1244
Mail : stackpole@btopenworld.com



AHDB

Address : Stoneleigh Park, Kenilworth, Warwickshire, CV8 2TL
Tel : +44 247 669 2051
HP : <http://dairy.ahdb.org.uk/>



10/10



DairyCo

DairyCo is a division of the AHDB.

10/11



NFU

Address : Stoneleigh Park, Stoneleigh, Warwickshire CV8 2TZ
Tel : +44 024 7685 4444
HP : <http://www.nfuonline.com/home/>

10/
12

Supermarket



10/
13



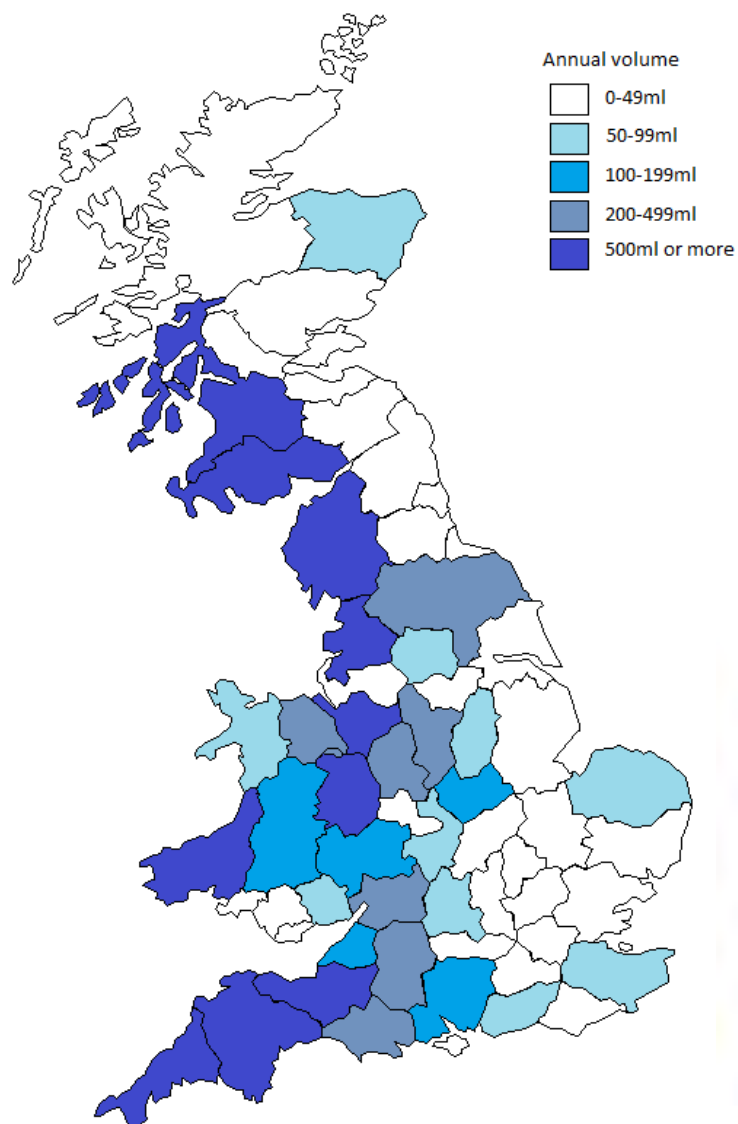
Tesco Dairy Centre of Excellence

Address : University of Liverpool, Wood Park Farm, Neston, Cheshire, CH64 7TB
HP : <https://www.liverpool.ac.uk/veterinary-science/workingwithbusiness/project-examples/>

- MMB解体以降の構造変化と課題解決のプロセス
- 酪農生産基盤強化のための取り組みの全体像
- 主要産地の酪農生産の動向と代表的な農場経営
- 主要な食品小売りチャネルの実態と消費動向
- 酪農乳業(取引・流通・消費動向等)の現状・課題
- 生乳取引に係る最近の制度改革と新たな取り組み等

英国酪農乳業の現状

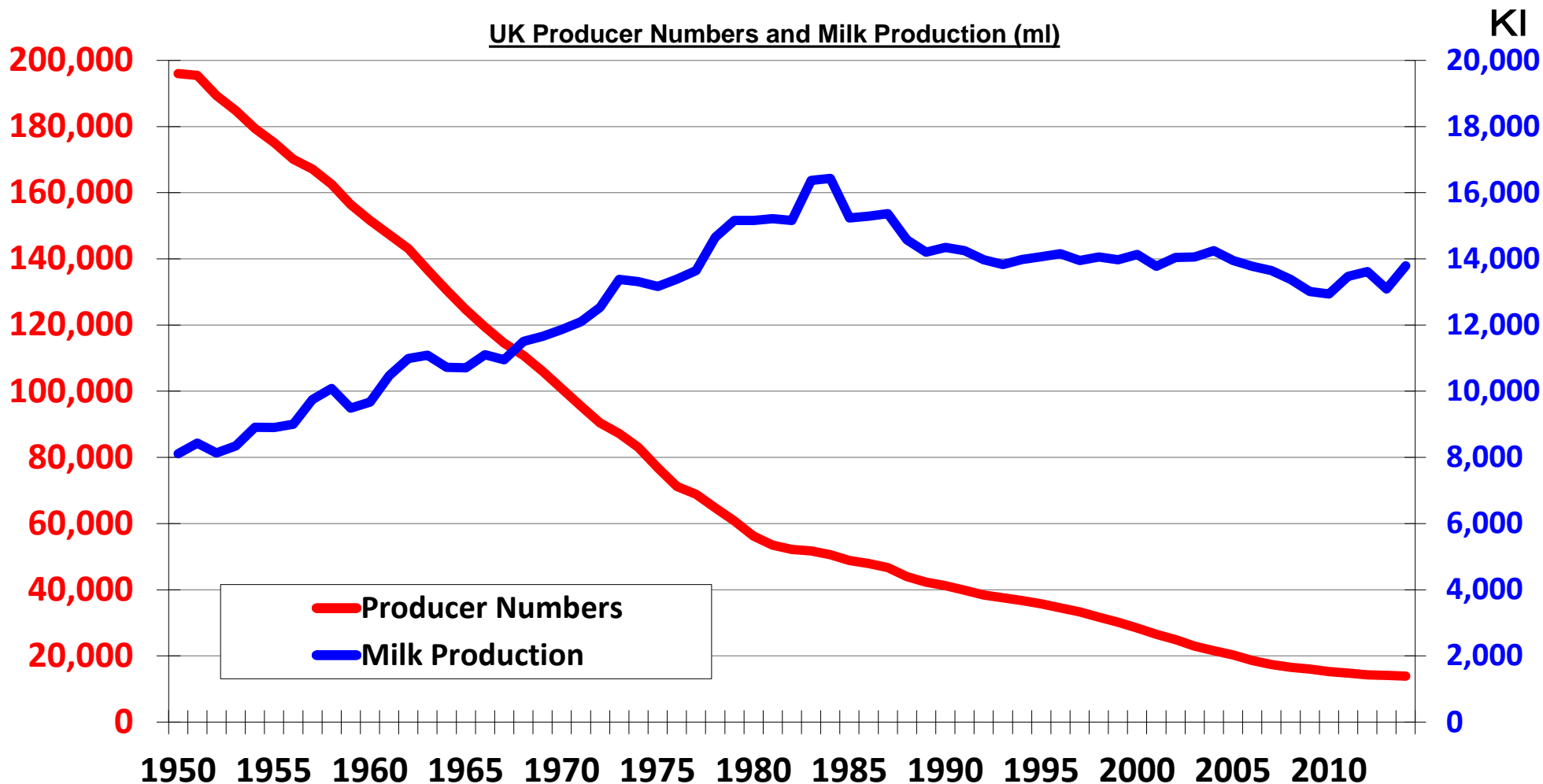




- 年間 1 千 4 百万トンの生乳生産量。
- 約1万4千戸の酪農生産者。
- G B の生乳生産は、牧草生産条件の良い西部に集中。
(近年西部への移行が続いている)

	Farm numbers as at June		
	2004	2013	2014
England & Wales	15,846	10,581	10,274
Scotland*	1,569	894	886
GB	17,415	11,475	11,160
Northern Ireland**	4,201	2,684	2,655
UK	21,616	14,159	13,815

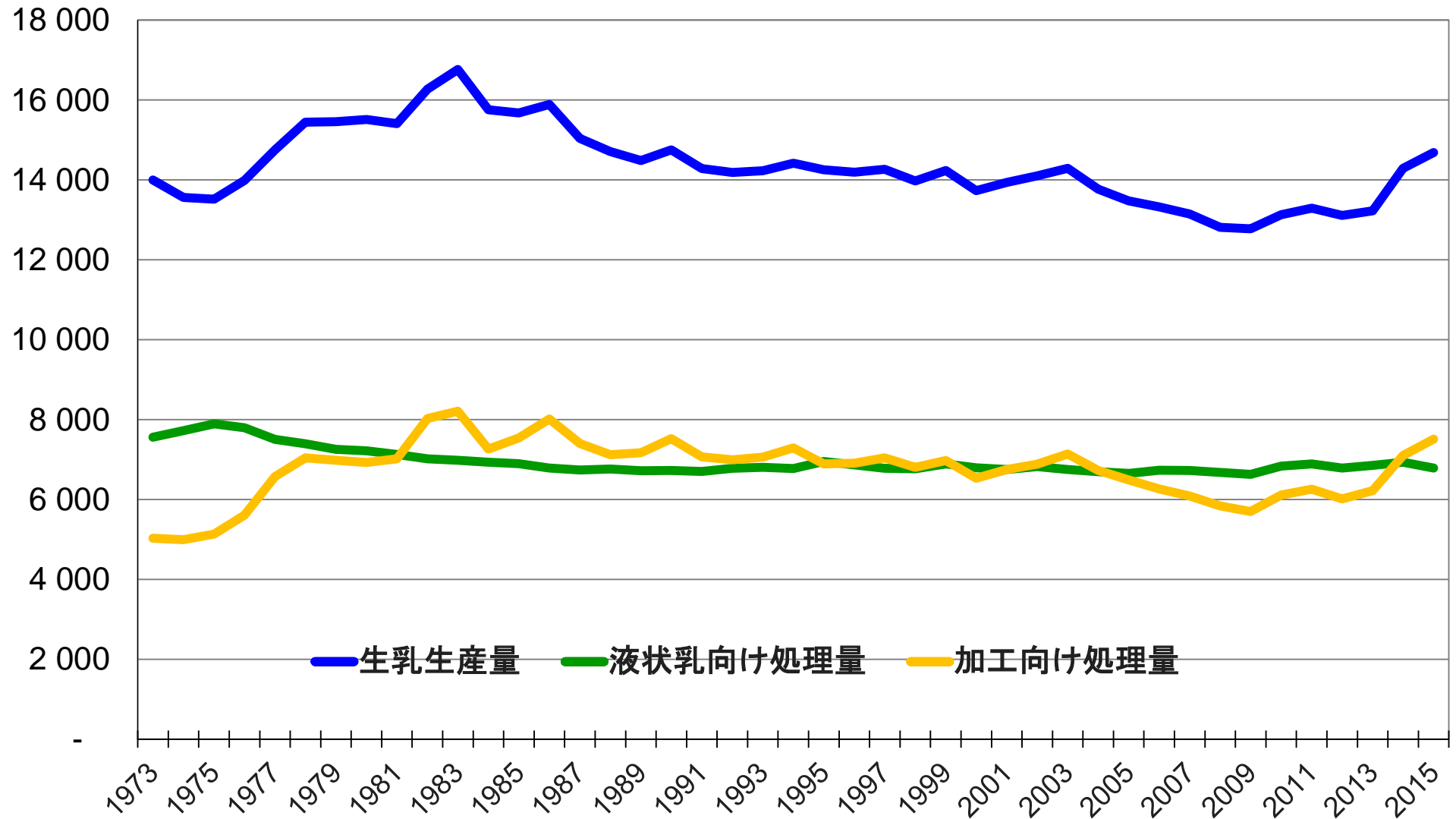
酪農生産者及び生乳生産量の推移



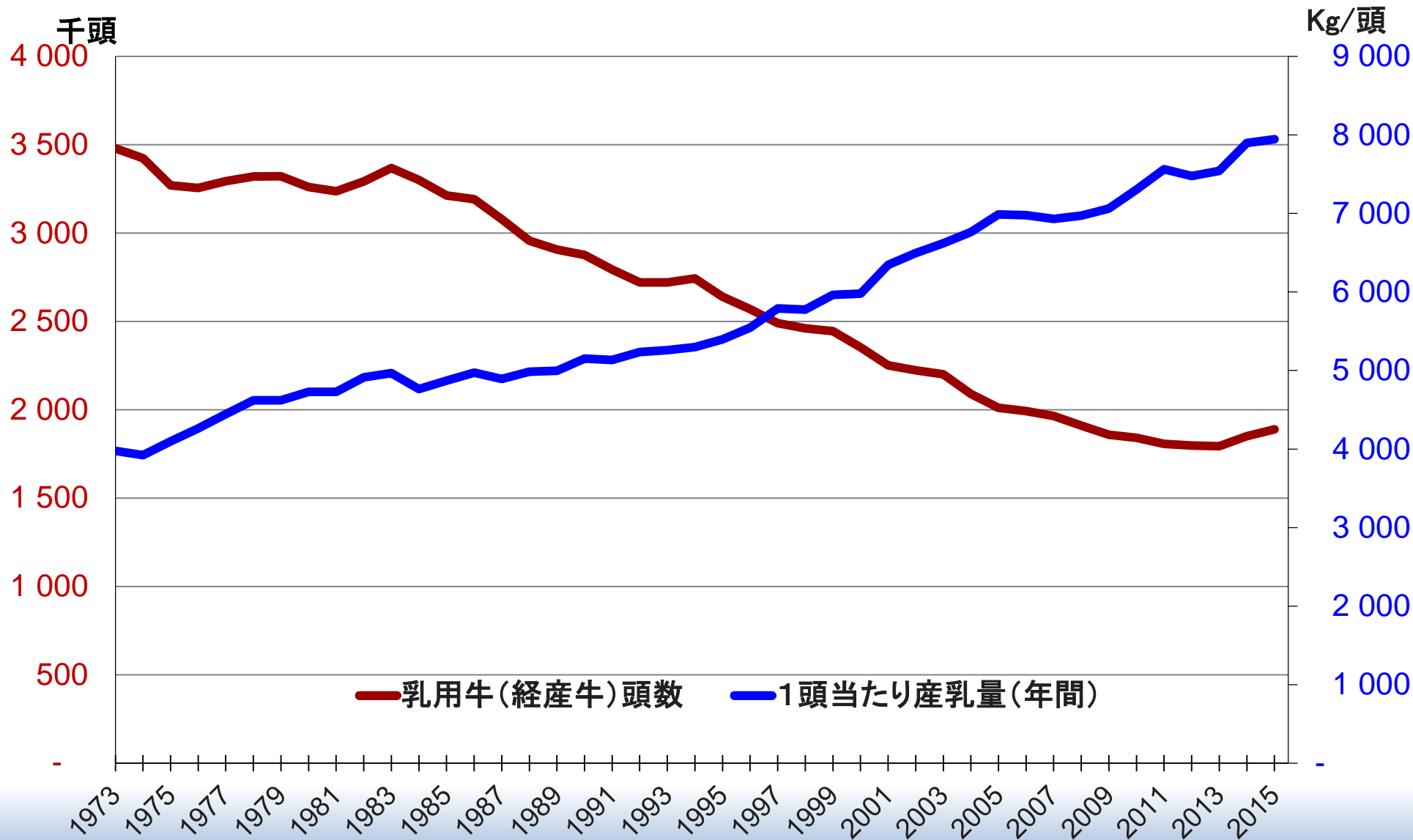
Milk production new series from 1987-8

Registered producers new series between 1995 and 2011 and from 2012

生乳の用途別仕向け量の推移 (単位：KI)



乳用牛頭数と1頭当たり産乳量の推移



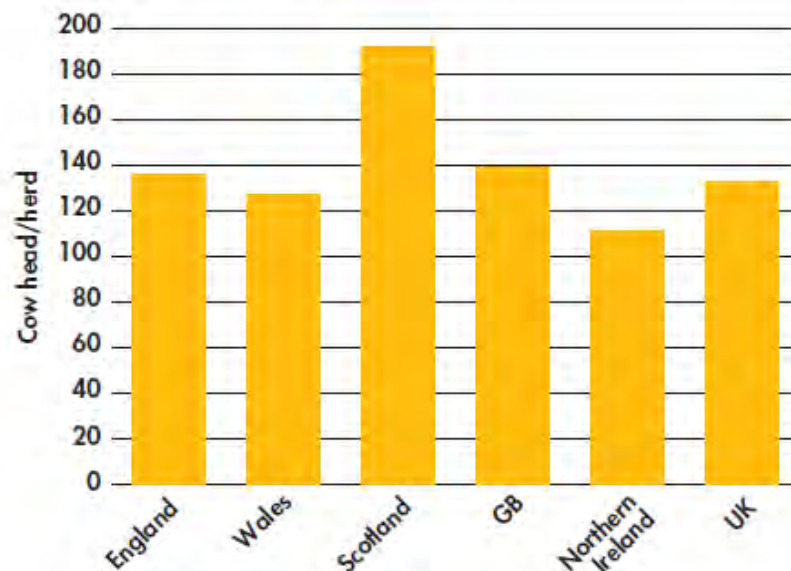
Source: DEFRA

酪農経営の乳用牛飼養規模の状況

	June census		
	2004	2013	2014
England	105	128	136
Wales	88	118	127
Scotland	124	185	192
GB	104	131	139
Northern Ireland	69	104	111
UK	97	126	133

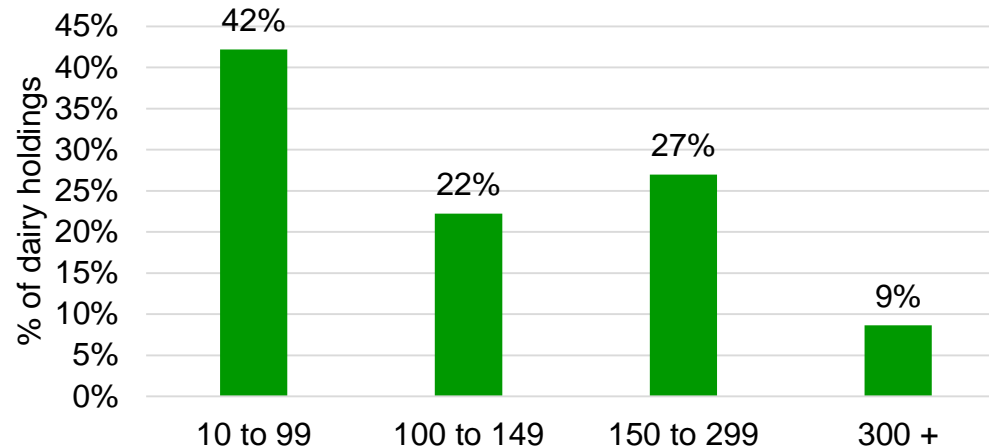
Note: Figures calculated from number of dairy cows by registered dairy production holdings.
Source: Defra, DARD, DHI, SEERAD, Welsh Government.

UK average herd size in 2014



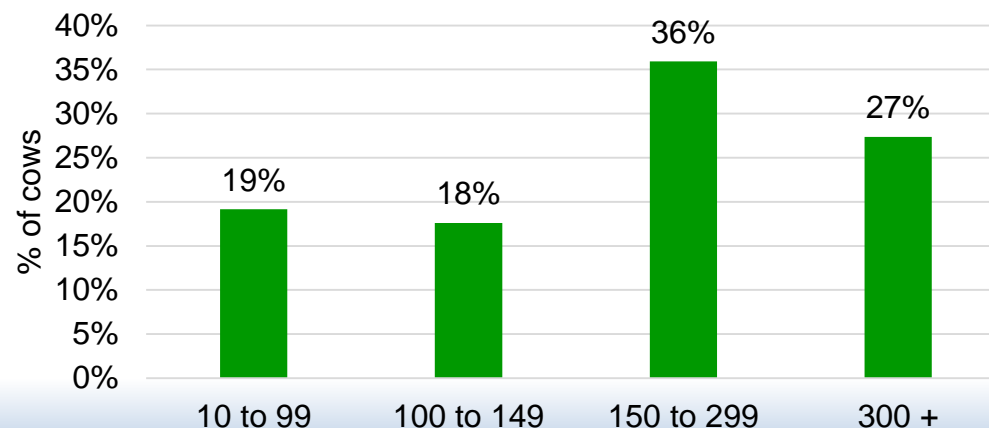
Source: Defra, DARD, DHI, SEERAD, Welsh Government.

乳用牛飼養規模別の酪農経営の分布



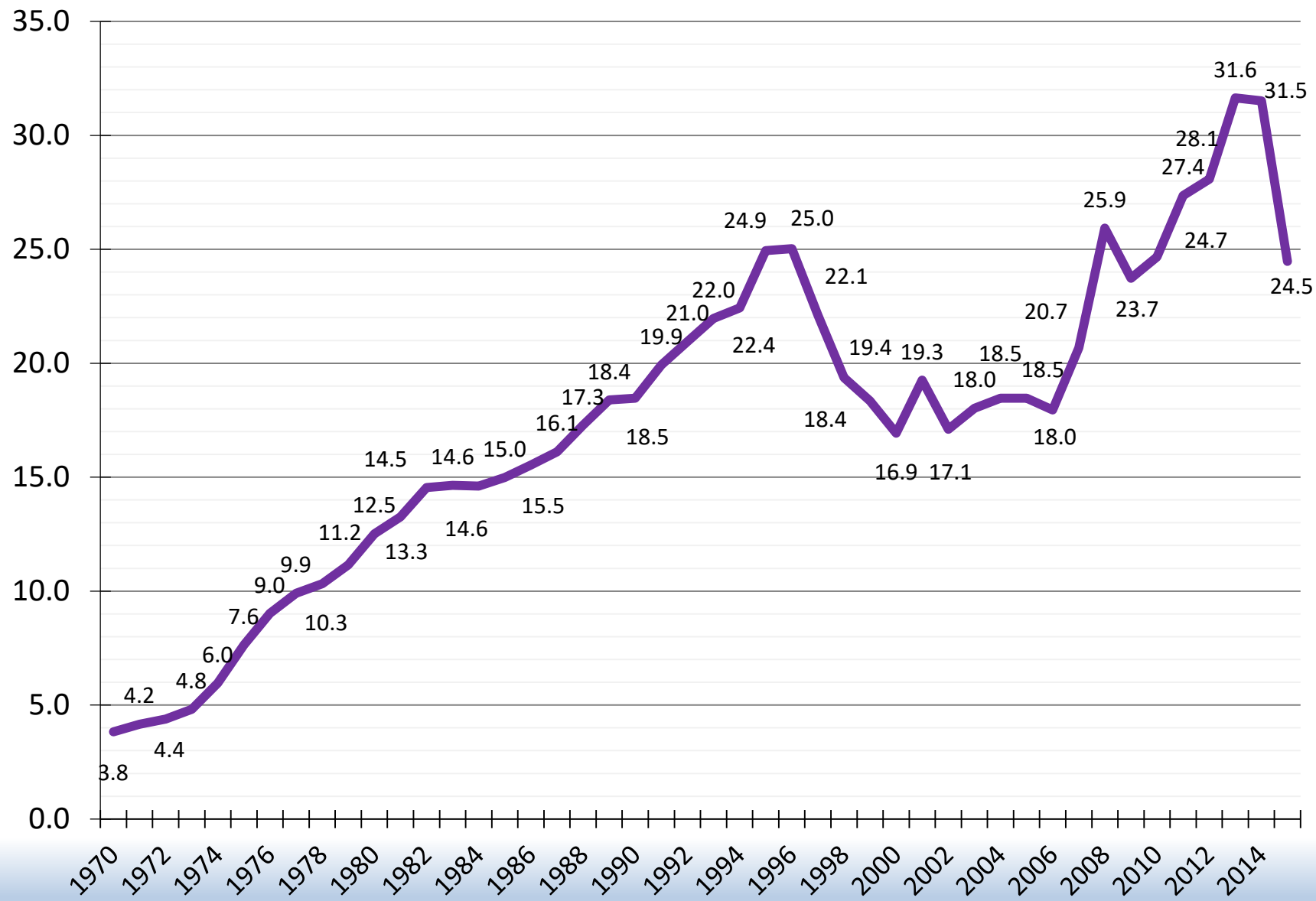
Source: AHDB Dairy

飼養規模別の乳用牛頭数の分布

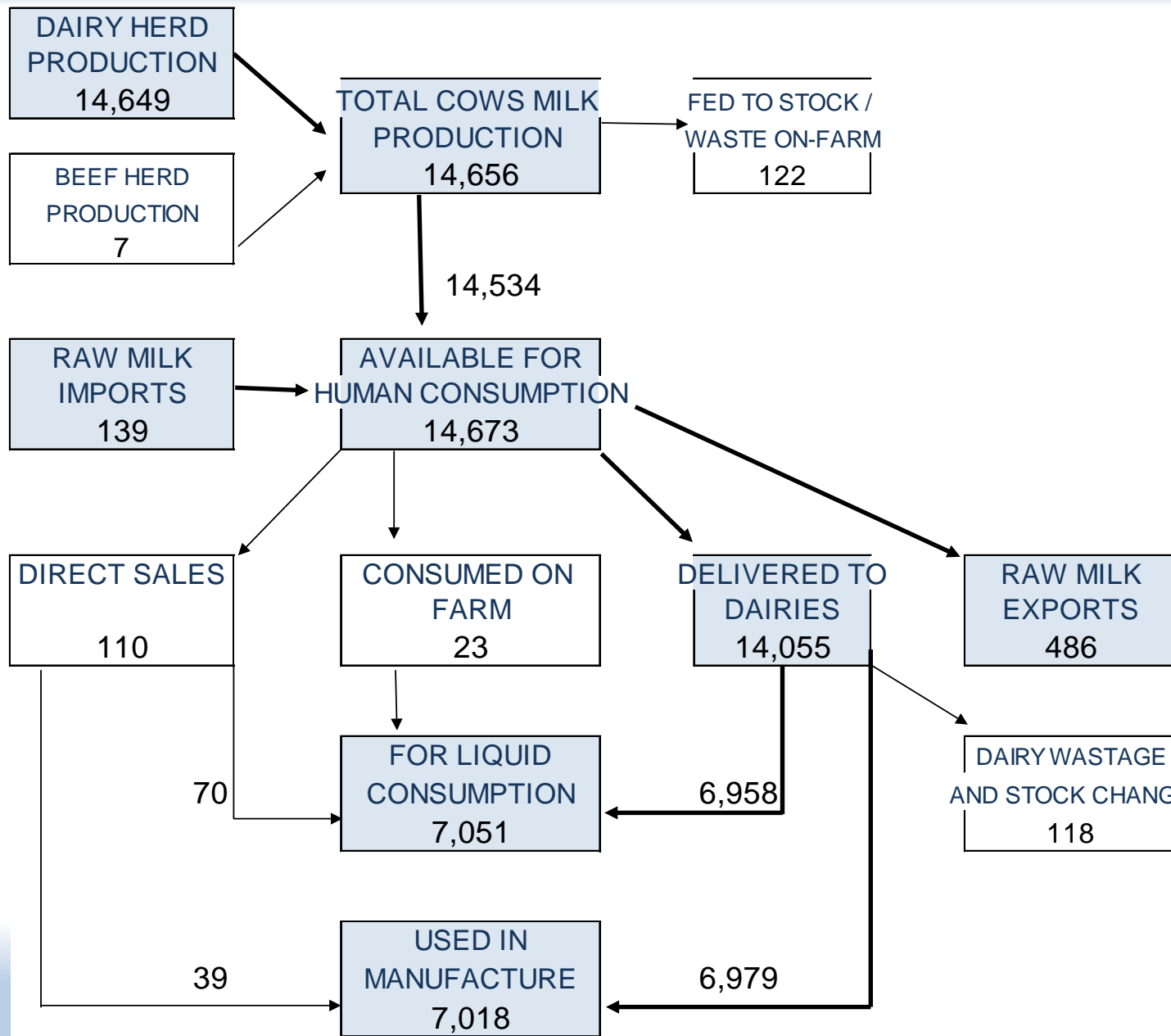


Source: AHDB Dairy

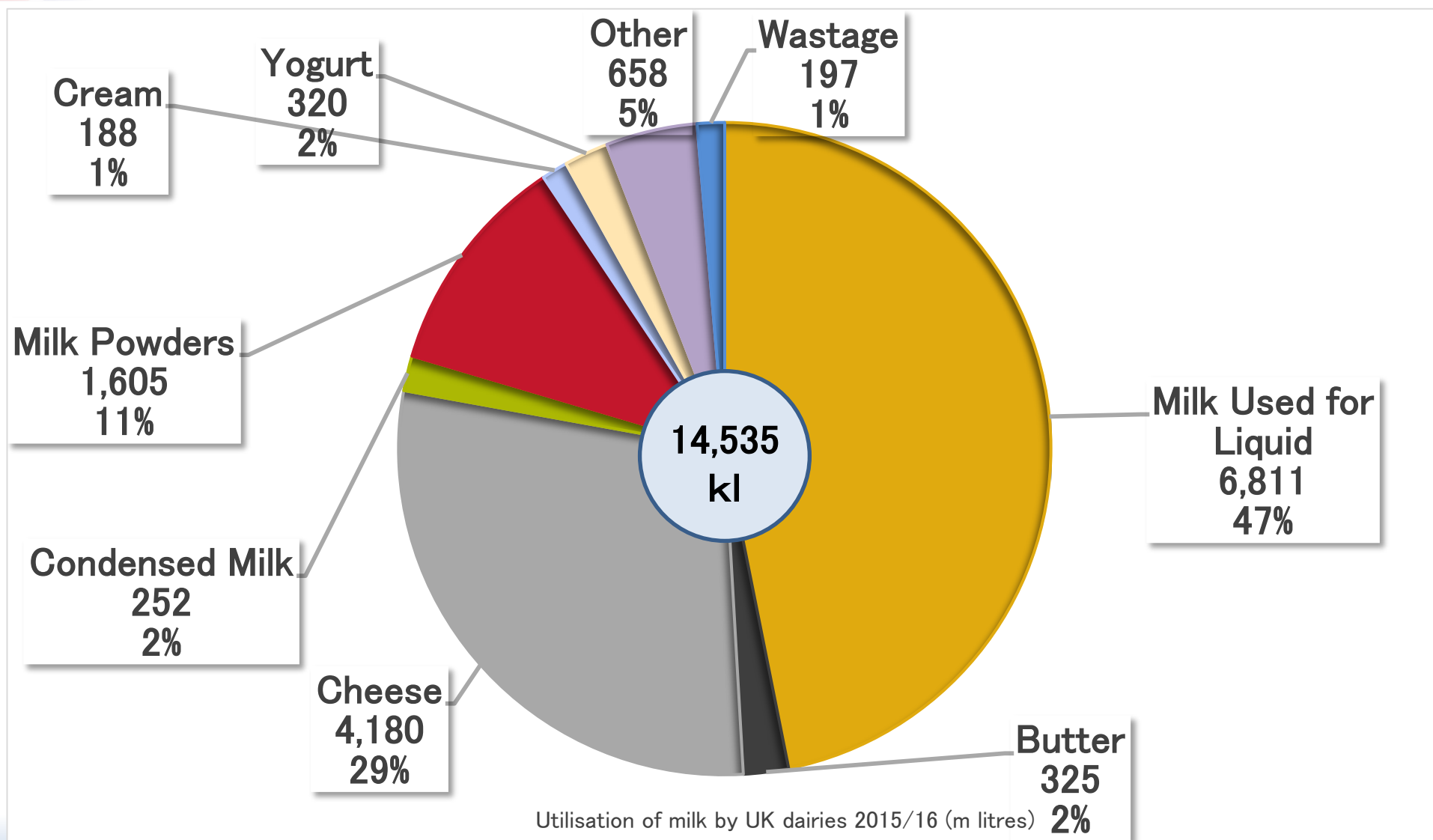
生乳の農家庭先価格の推移 (単位：PPL)



Source: DEFRA



生乳の仕向け用途（乳業工場 2015/16）



Source: DEFRA

小売り市場での飲用牛乳などのシェア



Total liquid milk

液状(飲用)乳

52-week period ending	Market share by volume (%)		Market share by value (%)	
	Mar-14	Mar-15	Mar-14	Mar-15
Top 5 multiples	72.0	73.1	70.1	70.1
Total hard discounters	8.1	9.1	6.2	7.0
Milkman	3.4	3.0	7.1	7.0
Total independents & symbols	3.7	3.3	4.4	4.2
Other retailers	12.8	11.2	12.2	11.7

Source: Kantar Worldpanel.

Total cheese

チーズ

52-week period ending	Market share by volume (%)		Market share by value (%)	
	Apr-14	Apr-15	Apr-14	Apr-15
Top 5 multiples	79.6	76.1	79.5	77.0
Total hard discounters	8.7	12	6.9	9.1
Total independents & symbols	0.5	0.5	0.6	0.6
Other retailers	11.2	11.4	13	13.3

Source: Kantar Worldpanel.

メーカーブランド

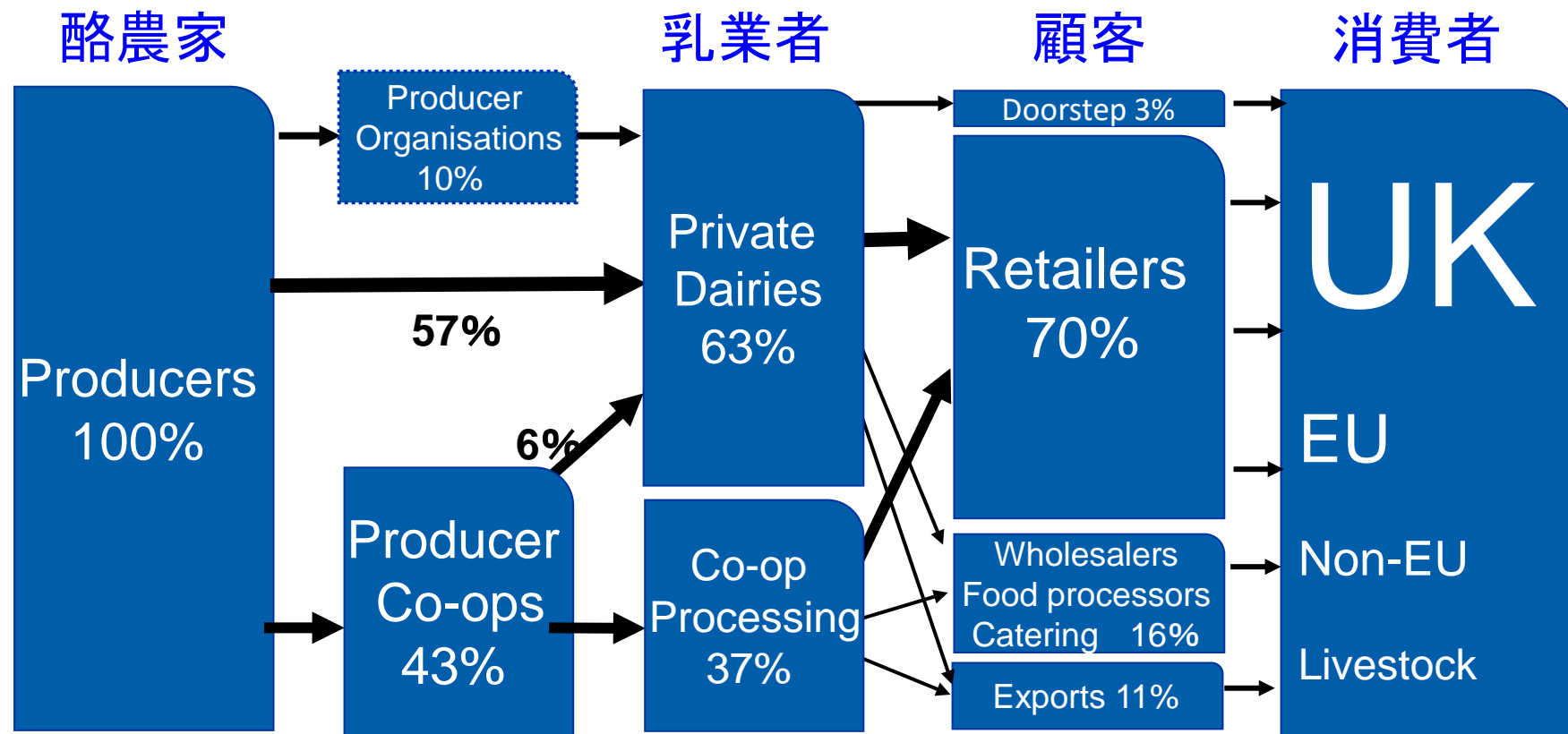
	Branded liquid milk	
	52-w/e Mar-14	52-w/e Mar-15
Volume (Million litres)	870.7	781.7
Expenditure (£ Million)	671.6	634.5
Average price (ppl)	77.1	81.2

ストアブランド

	Private label liquid milk	
	52-w/e Mar-14	52-w/e Mar-15
Volume (Million litres)	4,237.8	4,530.3
Expenditure (£ Million)	2,377.7	2,325.5
Average price (ppl)	56.1	51.3

宅配

	Other liquid milk*	
	52-w/e Mar-14	52-w/e Mar-15
Volume (Million litres)	179.4	164.8
Expenditure (£ Million)	233.8	222.8
Average price (ppl)	130.3	135.2



The organisation (either co-op or dairy) with the contract with the producer is called the purchaser

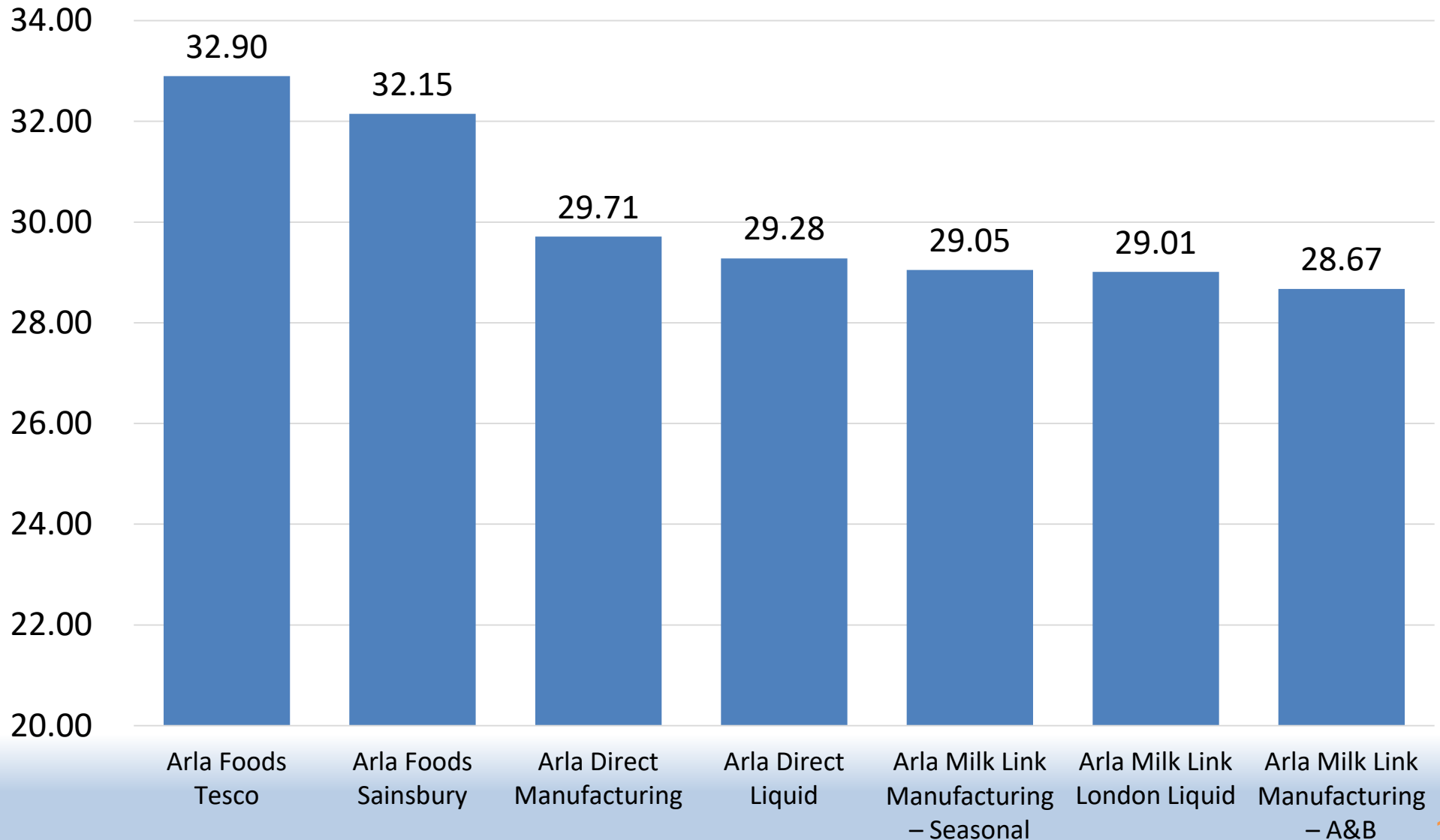
Align (小売り提携) 契約の概要



2012/2013	生産者戸数	生産者 平均規模	生乳購入 総量	購入方法の割合		直接契約中の 小売提携契約 の割合
		千トン	千トン	直接契約	仲介購入	
Arla Foods	3,200	1.0	3,500	90%	10%	26%
Caledonian cheese	180	1.5	313	80%	20%	-
Dairy Crest	1,270	1.3	2,100	79%	21%	25%
First Milk	1,800	0.8	1,450	100%	0%	3%
Glanbia Cheese	200	1.2	255	90%	10%	-
Meadow Foods	535	0.9	650	77%	23%	-
Müller UK/ Müller Wiseman Dairies	1,234	1.3	2,000	70%	30%	55%

Source: Guide to Milk Buyers (AHDG DairyCo)

Arla Foods の取引別乳価テーブル(2014/2015 ppl)



生乳利用の規模別分布

乳業(生乳処理)会社数

年間生乳利用量

Size Band ('000 tonnes per year)	Number	% of Total	Thousand Tonnes	% of Total
5 and under	339	85%	133	1%
Over 5 - 20	16	4%	202	2%
Over 20 - 50	11	3%	362	3%
Over 50 - 100	12	3%	839	6%
Over 100 - 300	14	4%	2,518	19%
Over 300	8	2%	9,189	69%
Total	400	100	13243	100

液状乳（飲用牛乳）生産量の 規模別分布

乳業（生乳処理）会社数

年間生乳利用量

Size Band (tonnes per year)	Number	% of Total	Thousand Tonnes	% of Total
1,000 and under	216	80%	43	1%
Over 1,000 - 10,000	29	11%	72	1%
Over 10,000 - 30,000	7	3%	113	2%
Over 30,000 - 100,000	8	3%	467	7%
Over 100,000	9	3%	6,015	90%
Total	269	100	6711	100

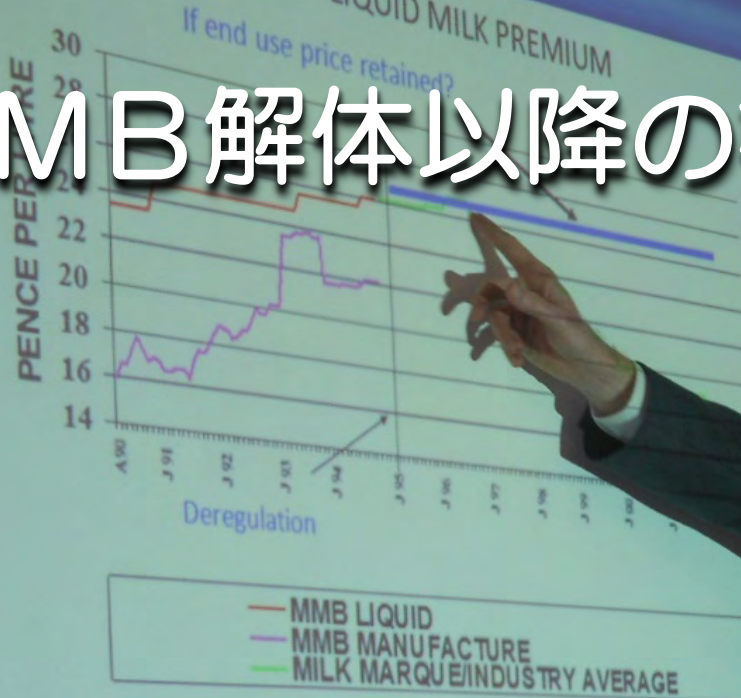
チーズ生産量の規模別分布

乳業(生乳処理)会社数

年間生乳利用量

Size Band (tonnes per year)	Number	% of Total	Thousand Tonnes	% of Total
100 and under	115	72%	1	0%
Over 100 - 1,000	15	9%	4	1%
Over 1,000 - 4,000	12	8%	23	6%
Over 4,000 - 10,000	6	4%	38	10%
Over 10,000	11	0	311	1
Total	159	100	378	100

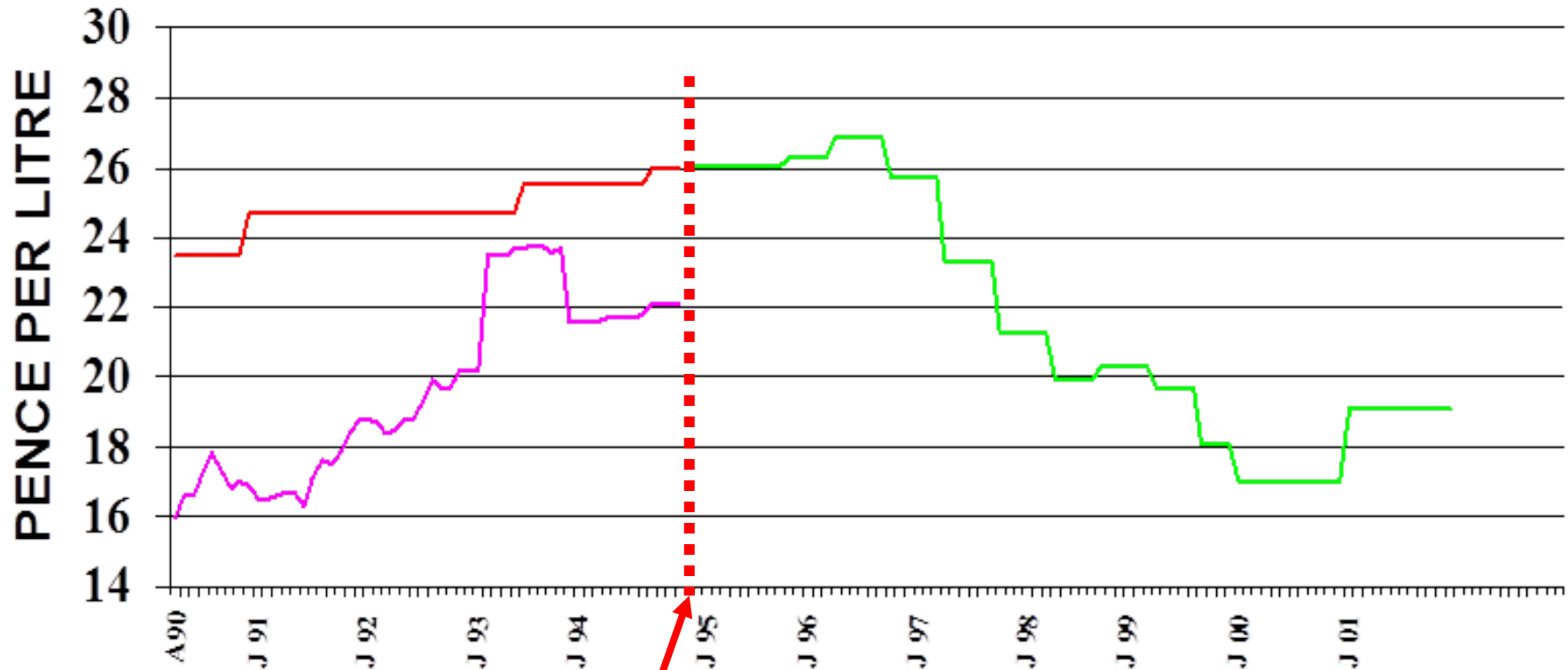
LOSS OF LIQUID MILK PREMIUM



MMB解体以降の構造変化



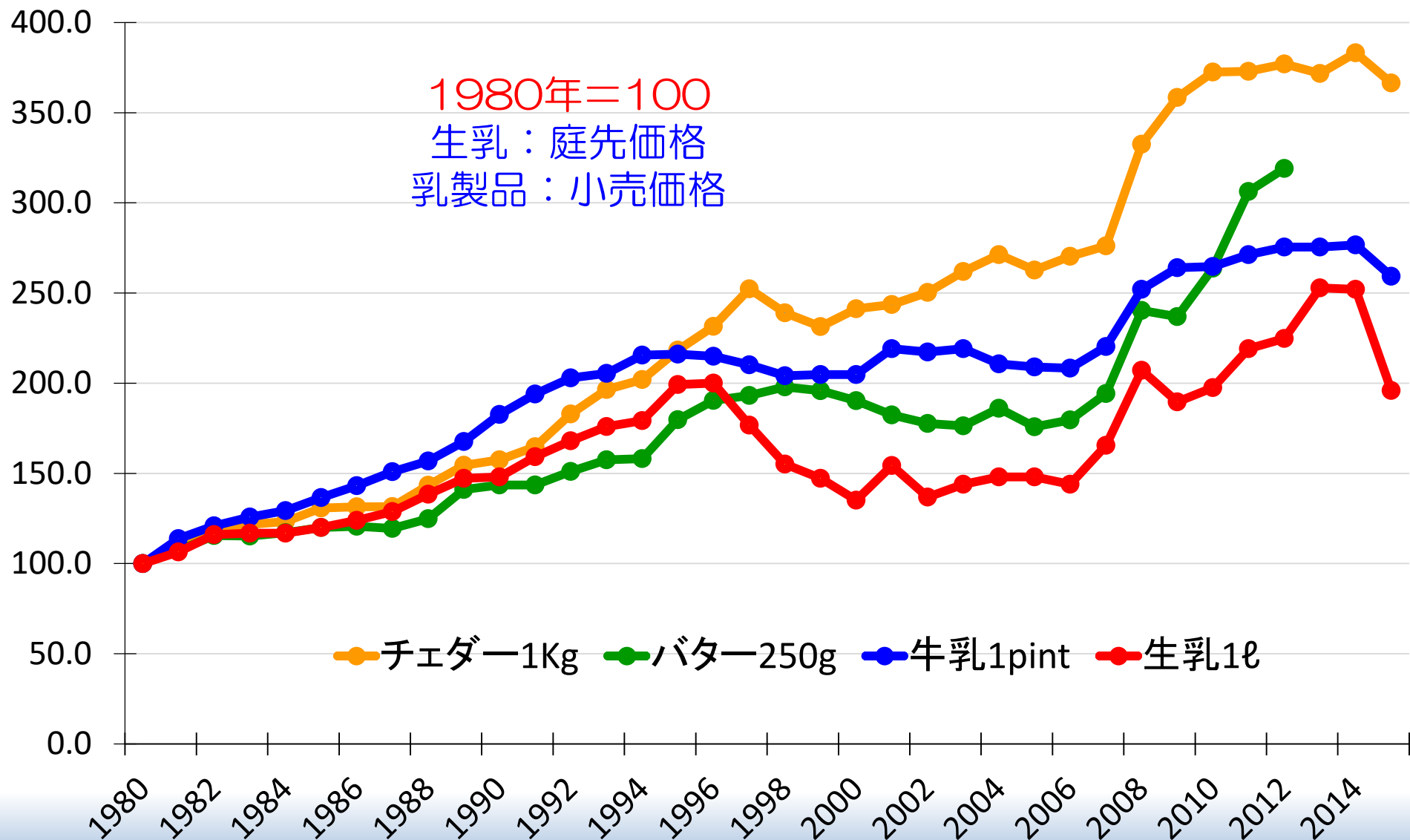
MMB解体前後の乳価の変化



MMB 解体 1994

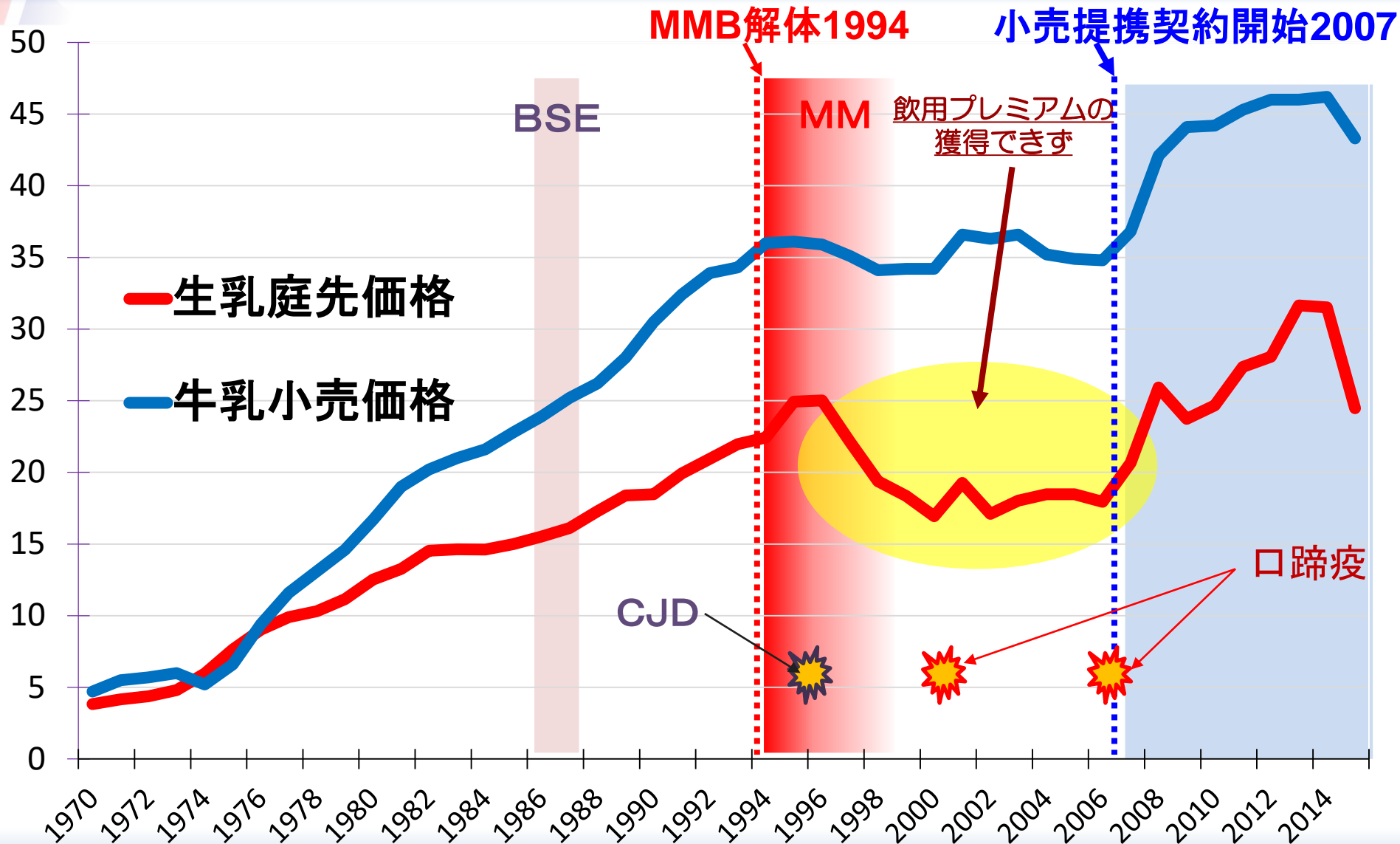
— MMB LIQUID
— MMB MANUFACTURE
— MILK MARQUE/INDUSTRY AVERAGE

生乳及び主要乳製品価格の変化



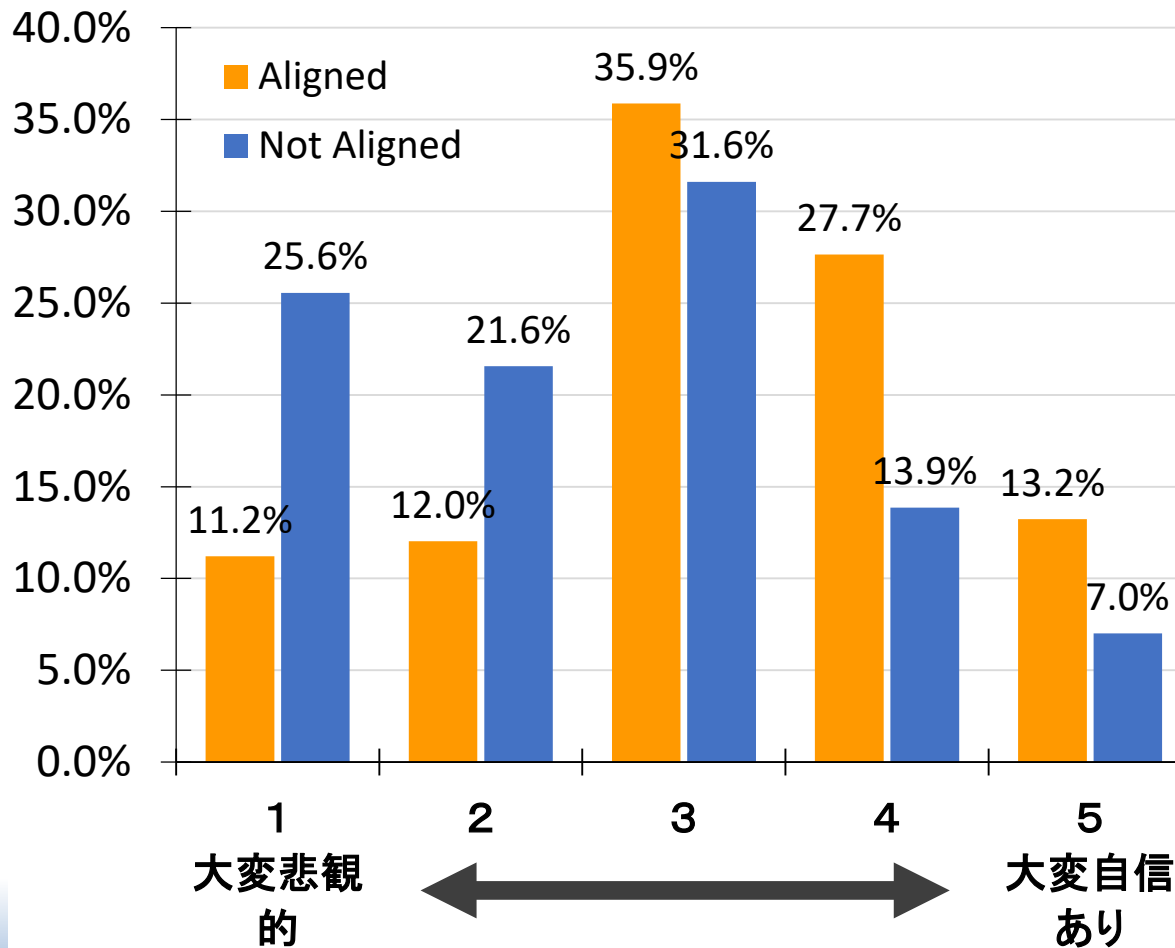
Source: ONSより計算

生乳価格と牛乳小売価格の変化と環境

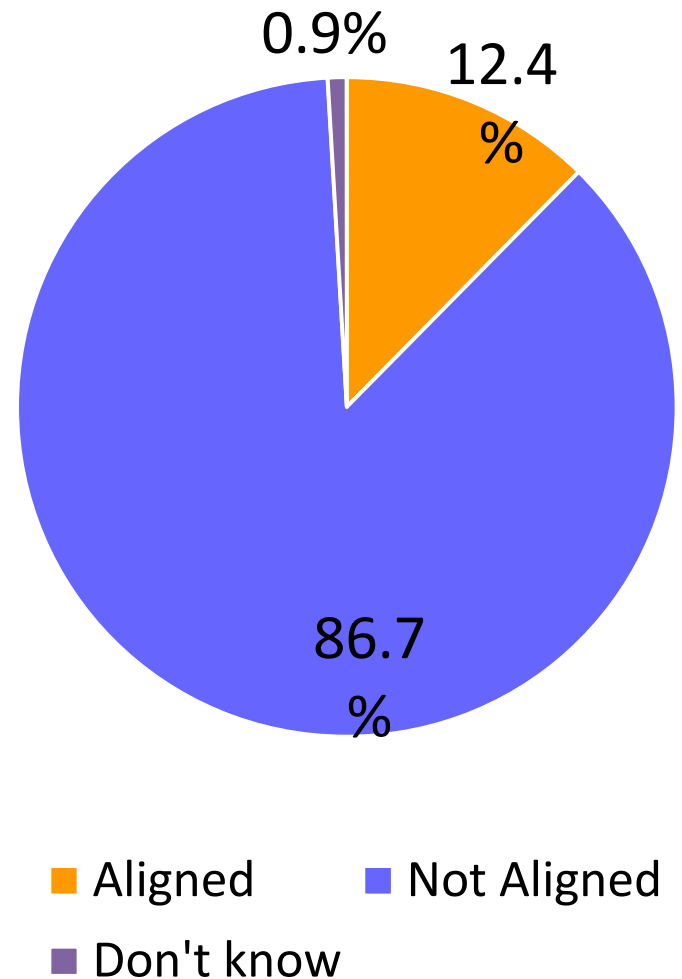


Source: DEFRA、ONS CJD: 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病

これからの1年間を考えると、
自分の経営にどの程度自信があるか？



小売り提携契約の比率





賛成論

- ・産業の効率化を強く誘引
- ・酪農生産者を市場志向に導く
- ・サプライチェーンにおける望ましいコミュニケーションが生まれる

否定論

- ・新しい枠組みの持つ意味に対しての無知（非現実的な期待）
- ・生産者がコモディティ市場の価格不安定にさらされる
- ・対立や抗議文化が誕生した
- ・業界収益が顧客（小売業）に吸収される

- ・MMBの課題（MMBがもたらしていた状況）
 - －イノベーションに欠ける技術的に非効率な産業
 - －市場力学に対しての無理解
- ・MMB解体は生産者に対して、国際市場からの価格圧力に適応しなければいけないという負荷を課す
 - －改革による経済的意味を理解することが必要不可欠
- ・上手くいっていない生産者は強い不満を感じる
 - －生産者乳価は不安定
 - －乳業者と小売業の利幅は安定的
- ・業界全体が非常に政略的（疑心暗鬼）になる
- ・規模の経済を実現するための迅速な経営合理化が不可欠
 - －但し、規模重視の酪農生産方式が消費者に受容されない可能性もある

■ 価格の不安定さが増大した

— 根本的な価格リスクの負荷は酪農生産者に降りかかる

(何故ならば生産者は差別化できないコモディティを販売しているから)

■ 消費者は生乳(特に国産の酪農製品)が将来も十分に供給されるかを心配した

■ これらの結果、小売業と提携した垂直型のサプライチェーン(Align Contract)が誕生した

- ・英国の酪農生産者の大部分は国際的なコモディティ市場の基本的傾向にさらされている
- ・価格リスクのサプライチェーン上での適正配分は第三者（消費者や銀行）の協力によってのみ実現する
- ・英国の酪農生産者は一般的にコスト効率が良い
- ・業界構造の変化は、期待された酪農経営の構造変化に明確な影響を及ぼしていない
- ・生産規模（拡大）への中期的な規定要因は英国ポンドの価値である

**MMB解体(1994年)以降の生乳流通や酪農製品市場の
多様な変化を経験する中で、
現在、MMBについてどのように総括し評価しているのか？**

DairyUK（英国を代表する乳業団体） 政策部長 ピーター・ドーソン氏



MMB解体は、一部の酪農家による不満が一つの動機。
用途別乳価から単一乳価となった生乳価格は、国際市場などの影
響を強く受けるようになり、一時3割以上急落。その後も短期間に大き
な変動を繰り返して、ミルクサプライチェーンは不安定に。
政府は「競争を促し酪農と乳業の体質を強化する」ことを目指したが、
多くの英国の乳業者は外国資本の乳業者に市場を明け渡したし、酪
農生産の効率化はそれまでも想定した範囲。
MMB解体による効果は産まれていない。
そうした経験を踏まえると、現在でもMMBが望ましい仕組み。

酪農家(ヨーロッパ農業者連盟酪農委員長)マンセル・レイモンド氏

(ウェールズ・ペンブロークシャーで620頭の搾乳牛飼養、農地1500ヘクタール。)



MMB解体以降、国際市場との連動が強まり酪農は極めて不安定に。比較的安定している飲用市場への出荷志向が強まり小売業からの影響を強く受けるようになった。結果的には、酪農家も乳業も市場からの強い支配を受け産業の体質が弱体化。

当時、英国の若い酪農家は、新しい変化に対して希望を抱いたが、結果的には、小売業の強い影響を受ける構造になった。

酪農家(農家民宿も経営)ドナルド・タイソン氏

(イングランド・チェスター近郊で300頭の搾乳牛を飼養、農地200ヘクタール。)



約20年間の経験を踏まえると、MMBは安定したシステムで、可能なら今からでも戻すべき。

酪農は他に比較して変化への弾力的対応に限界。

経営革新を行いたい、その効果を出すには3年以上はかかる。

現状のように乳価が変動し生乳の買い手が不安定な状況では、投資のための融資も受けられない。

「変化に極めて弱いという酪農生産や生乳流通に特有の構造的課題」に対処できなくなる。

ご清聴ありがとうございました。

